

ペットボトル水平リサイクルの出前授業を行いました

山形市、上山市、山辺町、中山町及び山形広域環境事務組合とサントリーグループは、ペットボトルをペットボトルに再生する「ボトル to ボトル」水平リサイクルに連携して取り組む事業の一環として、令和7年9月17日（水）に構成市町内の小学校において、サントリーグループの専門講師による環境教育に関する授業を実施しました。

「ボトル to ボトル」水平リサイクルとは



「ボトル to ボトル」水平リサイクルは、ペットボトルをペットボトルにリサイクルすることで、原料となる石油資源などを抑制することができる取り組みです。

山形市立千歳小学校

山形市立千歳小学校では、4年生62名の子どもたちが授業を受け、クイズやワークシート、映像などを活用しながら、ペットボトルの正しい分別方法を学び、「ボトル to ボトルを増やすためにあなたが頑張りたいこと。」など、参加型の授業を通して考えながら楽しく学ぶことができました。



サントリーの専門講師から授業を受ける子どもたちの様子

子どもたちの感想

- ・ リサイクルするために、飲み残しせずにきちんと飲む
- ・ キャップを外す、ラベルをはがす、中をすすぐ、ペットボトルをつぶすを意識していきたい。
- ・ 授業で聞いた分別の仕方などをわからない人には教えていきたい。

山形市立高瀬小学校

山形市立高瀬小学校では、4年生21名の子どもたちが授業を受け、クイズやワークシート、映像などを活用する参加型の授業を通して、子どもたちから積極的に発言し、「なぜ、リサイクルが必要なのか。」「自分たちができることってなんだろう。」など、楽しみながらリサイクルについて学ぶことができました。



サントリーの専門講師から授業を受ける子どもたちの様子

子どもたちの感想

- ・しっかり飲み切って、しっかり分別していきたい。
- ・飲み終わったら、キャップとラベルとペットボトルに分別して、家族のみんなにも教えてあげたい。
- ・ボトル to ボトルをみんなに知ってもらうため、広めていきたい。

リサイクルの向上のためペットボトルの分別にご協力をお願いします

当組合では今後もこうした出前授業を引き続き行い、リサイクルの仕組みや資源循環の必要性をPRする取り組みを行ってまいります。

①

ラベルをはがす



ラベルには色がついているので
はがしてください

②

キャップをはずす



キャップの材質はボトルと
異なるのはずしてください

③

ボトルをすすぐ



異物や飲み残しがあると
ペットボトルにリサイクルできません